

News Release

2008年10月1日

ソレイジア・ファーマ株式会社

〒108-6028

東京都港区港南2-15-1

品川インターシティA棟 28F

Tel 03 6717 4448

Fax 03 6717 4545

www.solasia.co.jp

Solasia

ジャパンブリッジが「ソレイジア・ファーマ株式会社」に社名変更、 アジア市場への戦略強化

東京/日本，2008年10月1日 - ジャパンブリッジ株式会社は、未だアジア市場に導入されていない抗がん剤を積極的に導入し、開発・販売するという同社の戦略を反映させるため、ジャパンブリッジ株式会社から「ソレイジア・ファーマ株式会社」に社名変更したと発表した。

「新社名は、日本・中国ならびに他のアジア諸国の、がん患者さんのためにより良い結果(成果)をあげるといふニーズにお応えするといふ戦略を反映したものです。」と、ソレイジア代表取締役社長スティーブ・エンゲンは説明する。

ソレイジアは、日本・中国および他のアジア市場におけるがん分野のアンメットニーズに応えるため、MPM キャピタルと伊藤忠商事の共同出資により設立された。

2008年5月、同社は欧米の医薬品会社プロストラカングループ (LSE: PSK)から、がん支持療法剤の独占的ライセンスを獲得したと発表した。ソレイジアは日本、中国、その他東南アジア数カ国において Sancuso® (グラニセトロン経皮吸収型製剤)を開発、商品化するための独占的ライセンスを確保した。Sancuso®はプロストラカンの特許によって保護されている新薬であり、抗悪性腫瘍剤の投与に伴う悪心・嘔吐を抑える経皮パッチ剤である。プロストラカンは日本、中国、台湾、シンガポール、マレーシアにおいて、Sancuso®をソレイジアに独占的に供給する。

ソレイジアについて(旧称ジャパンプリッジ)

ソレイジア・ファーマ株式会社(旧称ジャパンプリッジ株式会社)は、アジアにおけるがん領域のアンメットニーズに応えるため、MPM キャピタルと伊藤忠商事の共同出資により、2006年11月に設立されました。弊社のミッションは、日本、中国ならびに他のアジア諸国において、アグレッシブな臨床開発と独自の販売戦略により、がん領域の医薬品を迅速に患者さんにご提供することです。

MPM キャピタルについて

MPM キャピタル L.P. は、ボストンとサンフランシスコに事務所を持つ、ライフサイエンス企業への投資に特化したベンチャーキャピタルグループであり、世界最大のバイオベンチャーキャピタルのひとつである。MPM のポートフォリオは、新興企業から株式公開企業まで多岐にわたり、その主軸は製品の商業化間近のバイオ医薬品および医療機器企業、または医薬品産業へのサービス提供型の企業である。同社はベンチャーキャピタルファンドの MPM バイオベンチャーズならびにパブリックマーケットファンドである MPM バイオエクイティーズを通じて、24 億ドル超の資産を運営している。

MPM に関する詳細は www.mpmcapital.com

伊藤忠商事について

1858年に創業された伊藤忠商事株式会社は、初代伊藤忠兵衛が繊維の行商で創業したことに遡る。以来約一世紀半にわたって、伊藤忠は、繊維、機械、情報・通信関連、金属、石油等エネルギー源関連、生活資材、化学品、食糧・食品等の各種商品の国内、輸出入および海外取引を扱う総合商社へと進化し、成長を続けてきた。さらには損害保険代理業、金融業、建築業、不動産の売買、倉庫業ならびにそれらに付帯または関連する業務及び事業への投資を多角的に行ってきた。伊藤忠は前中期経営計画「Frontier-2006」の下で、「安定的かつ持続的に連結純利益 1,000 億円以上を達成する高収益企業」という目標を達成した。伊藤忠は現在、新中期経営計画「Frontier+2008」の実施へと前進している。この計画の下で、伊藤忠は更に攻めの姿勢を強め、積極的な経営方針を採用し、世界の舞台における企業価値を高め、「全てのステークホルダーにとって魅力溢れる世界企業」となることを目指す。